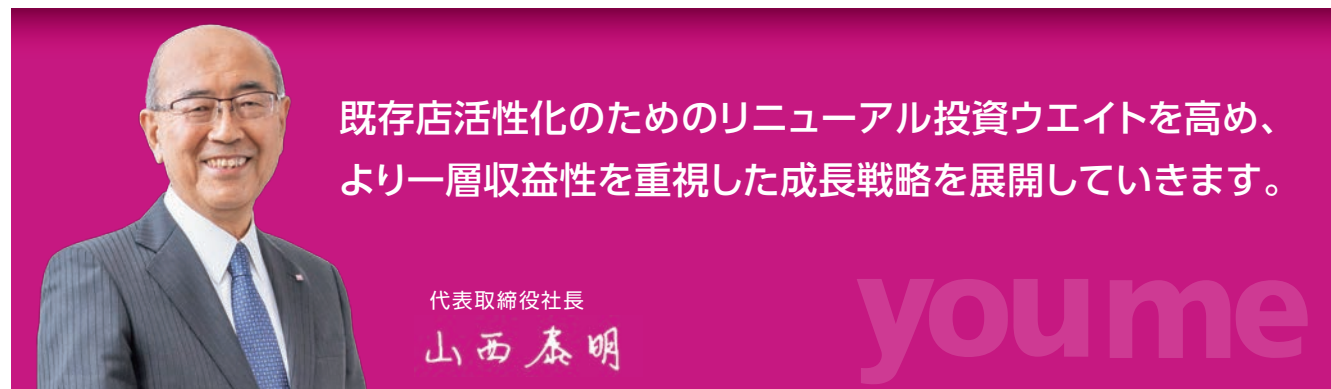


第59期 第2四半期 報告書

2019年3月1日▶2019年8月31日



株式会社 **イース**



既存店活性化のためのリニューアル投資ウェイトを高め、より一層収益性を重視した成長戦略を展開していきます。

代表取締役社長
山西泰明

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当第2四半期におけるわが国経済は、緩やかな景気回復途上にある一方、海外経済の鈍化や米中の通商問題等により、企業業績の先行きには不透明感が漂っています。また家計においても物価上昇や年金への不安等から、消費は弱含んで推移しました。

このような状況の下、当社グループでは昨年度より“日本の高質リージョナル総合スーパー”を目指す「中期経営計画」に沿った経営を進めておりますが、軟調な消費環境や人手不足、建築コスト高騰等の要因により新規出店の採算見直し低下が懸念されることから、4月に中期経営計画の数値目標を下方修正しました。経営ビジョン等の基本的な考え方は変更せず、新規出店計画をやや抑制する一方で、既存店の活性化としてリニューアル投資やスクラップ&ビルド等への投資ウェイトを高め、これまで以上に収益性を重視した成長戦略の展開を開始しました。

中核事業である小売事業では、リアル店舗としての付加価値提案力を高めることでお客様満足の追求に努めました。商品面では両極化していく消費動向に対応するため、付加価値創造とマスメリット追求の振幅を広げ、双方の品揃え拡充・競争力強化を図りました。とりわけ消費者のデフレマインドの強まりに対して、購買頻度の高いコモディティを中心に価格対応することで集客を図りました。

店舗面では、SC業態として5月に「ゆめタウン小野田」を

閉店した一方、6月に「ゆめタウン福山」を開業しました。食品スーパー業態においては、4月に「ゆめマート日田」「ゆめマート三田尻」、5月に「ゆめマート南小野田」、7月に「ゆめマート青山」を開業しました。また既存店の活性化として、6月に「ゆめタウン光の森」で増床リニューアルオープンを果たし、魅力度向上と買い回りの利便性を一層強化しました。

小売周辺事業では、電子マネー「ゆめか」やショッピングクレジットの新規会員獲得や外部加盟店での取扱いを拡大し、「ゆめか」の累計発行枚数は前期末752万枚から当第2四半期末では787万枚に増加し、当社のカード戦略が一層深まりました。またGoogle Pay取扱い開始や、「ゆめか」チャージとしてもポイント還元できるなどの制度変更により、顧客利便性を高め利用頻度の向上を図り、小売事業への集客及び店舗間の相互送客を図るとともに、レジ業務の生産性改善に繋がりました。

今後の見通しにつきましては、消費者の節約志向が一段と強まるなか、7月の気温低下や日照不足、台風の襲来等による天候不順により夏物商材を中心に販売が低調に推移するなど、個人消費は厳しい状況が続いています。当社グループでは経営環境の変化に柔軟に対応しながらお客様の満足を追求するとともに、引き続き店舗の活性化やコストの抑制に努めることで、より一層収益性を重視した成長戦略を展開してまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

進化し、深化する「youme」を。
地域になくはない存在。私たちは「地域一番店」を目指します。



連結財務ハイライト

営業収益

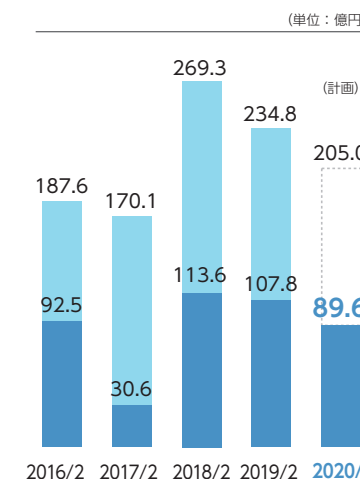
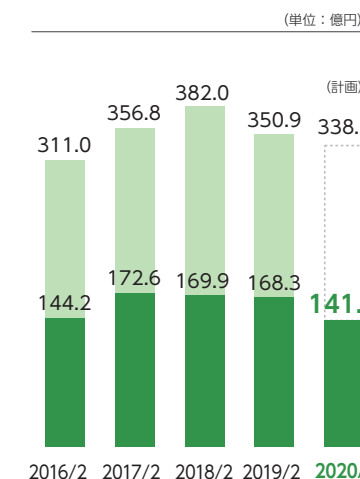
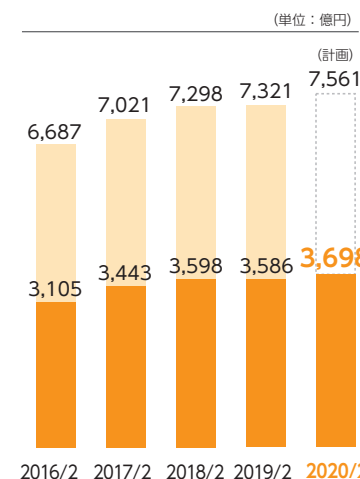
3,698 億円	前年同期比 103.1%
----------	-----------------

経常利益

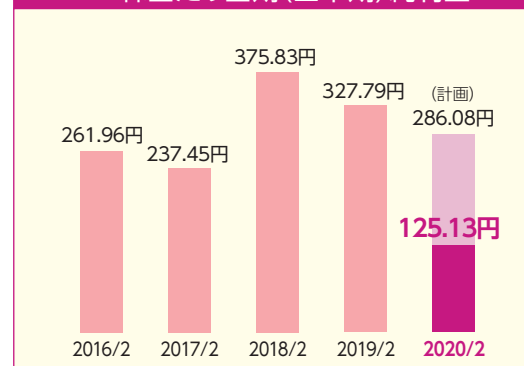
141.6 億円	前年同期比 84.1%
----------	----------------

親会社株主に帰属する四半期純利益

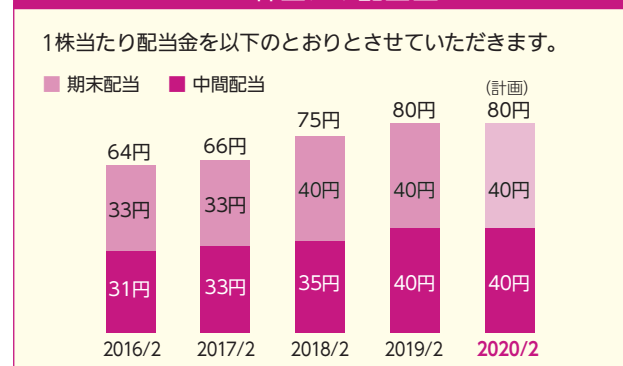
89.6 億円	前年同期比 83.1%
---------	----------------



1株当たり当期(四半期)純利益



1株当たり配当金



1株当たり配当金を以下のとおりとさせていただきます。

■ 期末配当 ■ 中間配当

店舗戦略 進化し、深化する「youme」を

各店舗の競争力を一段と強化し、 より収益性を重視した戦略を展開しています!

イズミは中期経営計画において店舗戦略の方針として新規出店を継続するとともに、「譲渡・継承物件への出店」「優良企業との提携」「既存店活性化」を重点項目にして、より収益性を重視した成長戦略を展開しています。皆さまの街づくり・暮らしづくりをより豊かに彩る店舗戦略の最新情報をお届けします。



ゆめタウン福山

広島県福山市

2019年6月29日
グランドOPEN!

ゆめタウンとして福山市の新しいランドマーク店舗へ!

福山市は広島県第2の中核都市で、商業・工業ともに盛んな都市として知られています。ゆめタウン福山は、これまで「イトーヨーカドー福山店」として営業していた店舗を継承したもので、「3世代のお客さまに満足していただける、便利で居心地の良いお店」をコンセプトに新しく生まれ変わりました。

ゆめタウンならではのくつろぎ空間の中に、話題の専門店や、食品を中心に毎日の暮らしに必要な商品とサービスを拡充し、地域に密着した皆さまに愛される店づくりを進めてまいります。



3世代が交流できる、
ゆとりとくつろぎの空間

3世代で楽しめる450席のフードコートをはじめ、子どもの遊び場や10ヶ所のレストスペースなど、ゆめタウンでしか体感できない空間を提供します。



おいしい、楽しい、
おしゃれな衣・食・雑貨の新店舗登場

アカチャンホンポや中四国最大級の無印良品など、各世代をターゲットにした人気の専門店が続々出店。広島初出店のステーキや和食の銘店なども登場しました。



福山地区一番の食品館と、
備後地区最大級のカープグッズ売場

「食品館」には、生鮮食品と店内製造の惣菜を強化した食品売場をはじめ、イズミ初となる店内でチーズのカット販売を開始。備後地区最大級の靴売場やカープグッズコーナーも人気です。



店舗概要 ・敷地面積/約75,800㎡(ポートプラザ日化) ・延床面積/約59,600㎡ ・店舗面積/約20,200㎡ ・駐車台数/約2,700台(平面駐車場・天満屋駐車場含む)

ゆめタウン光の森

熊本県菊池郡

2019年6月27日
増床リニューアル
グランドOPEN!

新規専門店21店舗導入、フードコートも熊本最大級!

「ゆめタウン光の森」は、2004年の開業以来地域の皆さまにご愛顧いただき、さらに愛される店づくりを目指して大改装に着手しました。

このたび増床リニューアル工事が完了し、ついにグランドオープンを迎えました。新規専門店21店舗の導入や、熊本最大級1000席のフードコート、立体駐車場やパウダールームの新設などサービス機能も充実させた魅力いっぱいの「新生ゆめタウン光の森」にご期待ください。



店舗概要 ・敷地面積/約79,500㎡ ・延床面積/約157,100㎡ ・店舗面積/約47,300㎡
・駐車台数/約3,700台

ゆめタウン高松

香川県高松市

2019年9月5日
リニューアル
OPEN!

四国一、お客さまのよろこびを追求します!

西日本最大級のスケールを誇るショッピングセンターとして誕生した「ゆめタウン高松」は、今年10月でオープン21年目を迎えることから、「四国一、お客さまのよろこびを追求」をテーマにフードコートや食品売場、衣料品売場の大幅な大改装を行いました。

940席の四国最大級のフードコートをはじめ、スターバックスコーヒーをフロア中心に配置したユニクロとGUのワンフロア出店など、話題性も楽しさもさらにスケールアップしました。



店舗概要 ・敷地面積/約98,530㎡ ・延床面積/約117,200㎡ ・店舗面積/約54,590㎡
・駐車台数/約3,200台

ゆめマート南小野田 山口県山陽小野田市

2019年5月21日
新規出店 **OPEN!**

「鮮度と価格」にこだわった食品売場で いいもの安いを実感!

山口県南小野田駅の近隣に、新たに「ゆめマート南小野田」を開店しました。山口県の主要産業であるセメント工場が集積するエリアで、毎日の買い回り需要が期待できます。これで山口県内の店舗数は14店となりました。



店舗概要
・敷地面積/約6,170㎡ ・延床面積/約3,000㎡
・店舗面積/約2,020㎡ ・駐車台数/約130台

ゆめマート青山 福岡県北九州市

2019年7月26日
新規出店 **OPEN!**

食品や惣菜、日用品など 毎日のお買い物に便利さを追求

北九州市八幡西区の交通便利な住宅街に、食品や惣菜、日用品など、暮らしに身近な食品スーパーとして「ゆめマート青山」を新規出店しました。これで福岡県内の店舗数は18店となりました。



店舗概要
・敷地面積/約12,300㎡ ・延床面積/約2,900㎡
・店舗面積/約2,000㎡ ・駐車台数/約190台

ビッグデータを活用した「あなたダケ」を追加

「ゆめタウンアプリ」の機能が充実!

「ゆめか」の残高確認や利用履歴がスマホで確認できる「ゆめタウンアプリ」。これまでご好評いただいている「ポイント確認」や「クーポン発券」機能に加え、「あなたダケ企画」機能を追加しました。これは購買情報や誕生日情報といったお客様の属性や特徴に応じて、個別にポイントの付与やキャンペーンオファーを行える新しい機能です。イズミは、これからも各種サービスの充実化とともに、さらなるお客様への利便性と満足度の向上を目指します。

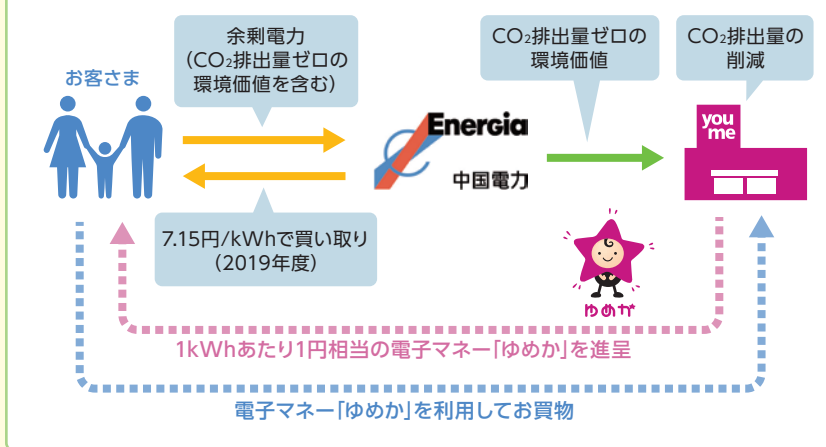


住宅用太陽光発電設備の余剰電力活用!

新サービス「ゆめかプラン」でエコロジー支援

イズミは中国電力と協力して、家庭の太陽光発電設備でつくった余剰電力買取制度を支える新サービス「ゆめかプラン」を11月より開始します。これはこれまで行われてきた電力の固定価格買取制度(FIT)が順次期限切れを迎える中、制度の継続と維持を求める声に応えるサービスで、中国電力が家庭から余剰電力を買い取り、イズミはそれを店舗の電力として使用することで、二酸化炭素削減につなげていこうとする取り組みです。そしてイズミは1kWhあたり1円相当の電子マネー「ゆめか」をお客さまへ進呈することで、持続可能な社会づくりを支援していきたいと考えています。

■「ゆめかプラン」のイメージ



ゆめタウン光の森に、 はたらく社員の子育てを支援する

「ゆめたうん保育園」開園

イズミは社員の子育てや介護を支援するため、さまざまな取り組みを行っていますが、このたびにリニューアルオープンした「ゆめタウン光の森」の中に、社員やテナント様の従業員のお子さまを預かる「ゆめたうん保育園」を開園しました。これはイズミで初めての取り組みで、今後さらに多くの地域へ広げていきたいと考えています。



応援、よろしくお祈りします!

「イズミメイプルレッズ」始動!

ハンドボール日本リーグ女子の「広島メイプルレッズ」は、本年4月よりイズミの実業団チーム「イズミメイプルレッズ」として新たに始動いたしました。ハンドボールを通じて地域に“夢”と“活力”を与え社会の活性化に貢献します。

- »» 1994年4月
「イズミ女子ハンドボール部」として創部
- »» 2001年6月
「広島メイプルレッズ」としてクラブチーム化
- »» 2019年4月
「イズミメイプルレッズ」企業チームとして再スタート



ともに「夢」を育てるイズミグループ

イズミグループは、小売事業を中核とし、無駄のないスリムなグループ構造を維持すると同時に、その他関連事業とのシナジー効果を追求してまいります。
各グループ企業が、それぞれの特性を活かしつつ、積極的に事業展開することで、お客様に新たな驚きと感動をお届けしてまいります。

株式会社 ゆめマート北九州

地域貢献度No.1を目指して、 ゆめマート永犬丸新装オープン!

ゆめマート永犬丸は2002年8月にオープン以来、地域のお客様にご愛顧を賜ってまいりました。「地域のお客様に信頼されるお店づくり」「従業員が働きがいを感じるお店づくり」をモットーに建替工事を実施し2019年8月に新装オープンしました。
売場面積を拡張し、豊富な品揃え、店内調理にこだわった作りたてのおいしさ、新鮮で安全な生鮮食品をお求めやすい価格での提供を行い、毎日の生活に欠かせない食品スーパーを目指します。



株式会社 ユアーズ

JR広島駅北口1階に、 新店「ユアーズekie広島店」オープン!

2019年10月2日、JR広島駅北口「ekie KITCHEN」開業に伴い、「ユアーズekie広島店」をオープンしました。
差別化と収益力を兼ね備えた地域スーパーの新しいビジネスモデルを構築するための店舗です。「健康」「即食・簡便」「地元」「こだわりの逸品」をテーマに、「アバンセ」のノウハウを活用するなど独自の取り組みも行っており、皆様の台所として、活気にあふれる店舗を目指します。



株式会社 ゆめカード

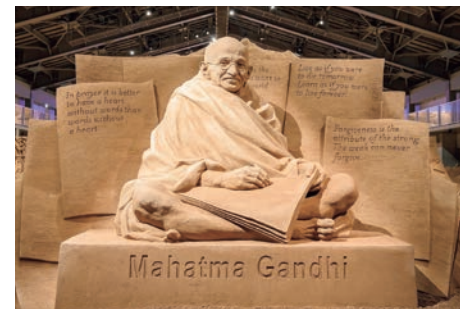
キャッシュレス普及に大きな追い風。キャッシュレス・ポイント還元事業に参加!

2019年10月からの消費税率引き上げに伴い、政府が必要平準化対策として、「キャッシュレス・ポイント還元事業(2020年6月末日迄)」をスタート。キャッシュレス決済拡大において大きな追い風となります。当社も事業に参加し、ゆめカードクレジット及び電子マネーゆめかをサービスの対象として推進してまいります。イズミグループにおいては、株式会社ユアーズがキャッシュレス・消費者還元事業に参加しております。また、電子マネーシステムASP提携先においても事業へご参加いただき、取り引き拡大を推進してまいります。

株式会社 イズミテクノ

目指せ年間来館者50万人! 鳥取砂丘砂の美術館「砂で世界旅行 南アジア編」開催中!

指定管理者として2年目となる今期の展示テーマは「砂で世界旅行 南アジア編」です。今年はマハトマ・ガンジー生誕150年の節目にあたり、インドを中心とした南アジア8ヶ国にスポットをあて、砂の彫刻を展示しております(2020年1月5日迄)。先日は秋篠宮佳子様にご来館いただき、作品のスケール感や繊細な彫刻の数々をご鑑賞いただきました。
ぜひ、鳥取砂丘「砂の美術館」へお越しください。



イズミ・フード・サービス 株式会社

ゆめタウン高松「お好み一番地」1号店がリニューアルオープン!

2019年9月5日、ゆめタウン高松の新しいフードコート「FOOD CRUISE」のオープンに合わせ、当社の「お好み一番地」も移設オープンしました。「お好み一番地」では初の試みとなるデジタルサイネージを導入し、お好み焼きの魅力をアピールしております。ゆめタウン高松は「お好み一番地」の創業の地。今後も、地元のお客様に愛されるお店づくりに取り組んでまいります。



業績ハイライト

営業収益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
3,698億円	前年同期比 103.1%	141.6億円	前年同期比 84.1%	89.6億円	前年同期比 83.1%

連結決算の推移

	通期			第2四半期	
	2018年2月	2019年2月	2020年2月計画	2018年8月	2019年8月
営業収益	729,857	732,136	756,100	358,626	369,814
前年同期比	104.0%	100.3%	103.3%	99.7%	103.1%
営業利益	38,487	35,273	33,900	16,788	14,163
前年同期比	107.9%	91.7%	96.1%	98.2%	84.4%
経常利益	38,208	35,099	33,800	16,833	14,164
前年同期比	107.1%	91.9%	96.3%	99.1%	84.1%
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	26,932	23,488	20,500	10,786	8,966
前年同期比	158.3%	87.2%	87.3%	94.9%	83.1%
総資産	479,867	484,876	—	487,160	502,156
純資産	194,851	211,546	—	202,793	217,732
1株当たり四半期(当期)純利益	375.83円	327.79円	286.08円	150.52円	125.13円
1株当たり純資産	2,553.14円	2,789.58円	—	2,661.79円	2,874.95円

[参考] 単体決算の推移

	通期			第2四半期	
	2018年2月	2019年2月	2020年2月計画	2018年8月	2019年8月
営業収益	683,850	686,991	711,600	335,954	347,690
前年同期比	105.5%	100.5%	103.6%	99.7%	103.5%
営業利益	32,017	29,141	27,900	13,739	11,253
前年同期比	105.9%	91.0%	95.7%	98.2%	81.9%
経常利益	31,918	29,177	27,900	13,873	11,326
前年同期比	105.9%	91.4%	95.6%	99.2%	81.6%
四半期(当期)純利益	23,370	20,466	17,300	9,129	7,317
前年同期比	161.9%	87.6%	84.5%	95.1%	80.1%
総資産	392,065	414,350	—	404,336	432,737
純資産	151,834	166,105	—	157,958	170,321
1株当たり配当金	75.00円	80.00円	80.00円	40.00円	40.00円

連結財務諸表

[連結] 貸借対照表

	前期末 2019.2.28	当第2四半期末 2019.8.31	前期末 2019.2.28	当第2四半期末 2019.8.31
(資産の部)				
流動資産				
現金及び預金	8,136	15,989		
受取手形及び売掛金	39,784	45,220		
商品及び製品	28,355	28,496		
仕掛品	22	60		
原材料及び貯蔵品	558	553		
その他	15,890	16,582		
貸倒引当金	△ 584	△ 573		
流動資産合計	92,164	106,329		
固定資産				
有形固定資産				
建物及び構築物(純額)	162,976	165,232		
土地	162,745	163,041		
その他(純額)	12,398	13,251		
有形固定資産合計	338,121	341,525		
無形固定資産				
のれん	3,958	3,555		
その他	8,219	8,314		
無形固定資産合計	12,177	11,870		
投資その他の資産				
その他	42,972	42,989		
貸倒引当金	△ 559	△ 557		
投資その他の資産合計	42,413	42,431		
固定資産合計	392,711	395,827		
(負債の部)				
流動負債				
支払手形及び買掛金	31,275	58,037		
短期借入金	25,746	8,700		
1年内返済予定の長期借入金	21,264	20,145		
未払法人税等	4,777	4,850		
賞与引当金	2,132	2,683		
役員賞与引当金	10	14		
ポイント引当金	2,558	2,847		
商品券回収損失引当金	166	166		
その他	25,551	36,620		
流動負債合計	113,482	134,066		
固定負債				
長期借入金	115,912	107,670		
役員退職慰労引当金	2,176	973		
利息返還損失引当金	102	71		
退職給付に係る負債	8,050	8,319		
資産除去債務	7,914	8,048		
その他	25,690	25,273		
固定負債合計	159,846	150,357		
負債合計	273,329	284,423		
(純資産の部)				
株主資本				
資本金	19,613	19,613		
資本剰余金	22,247	22,267		
利益剰余金	157,530	163,631		
自己株式	△ 25	△ 26		
株主資本合計	199,367	205,486		
その他の包括利益累計額				
その他有価証券評価差額金	737	665		
退職給付に係る調整累計額	△ 208	△ 138		
その他の包括利益累計額合計	529	527		
非支配株主持分	11,649	11,719		
純資産合計	211,546	217,732		
資産合計	484,876	502,156	負債純資産合計	484,876 502,156

資産・負債の状況	
総資産	5,021億円 前期末比 ▶ 172億円増加
・当第2四半期の設備投資額は11,824百万円であり、これは主に店舗新設等によるものです。有形固定資産は、減価償却実施後で3,403百万円増加しました。	
・現金及び預金は、期末日が銀行休業日であったために仕入債務等の資金決済が翌月初に持ち越されたこと等で7,852百万円増加しました。	
・受取手形及び売掛金は、クレジット取扱高の増加等により5,435百万円増加しました。	
負債	2,844億円 前期末比 ▶ 110億円増加
・支払手形及び買掛金は、期末日が銀行休業日であったため、決済が翌月初に持ち越されたこと等により26,761百万円増加しました。	
・流動負債その他は、店舗新設に係る設備未払金の増加等により11,068百万円増加しました。	
・短期借入金及び長期借入金は、26,407百万円減少しました。	

純資産の状況	
純資産	2,177億円 前期末比 ▶ 61億円増加
・利益剰余金は、内部留保の上積みにより6,100百万円増加しました。	
・これらの結果、自己資本比率は41.0%となり、前期末の41.2%に比べて0.2ポイント低下しました。	

連結財務諸表

[連結] 損益計算書

単位:百万円

	前第2四半期 2018.3.1~2018.8.31	当第2四半期 2019.3.1~2019.8.31
営業収益	358,626	1 → 369,814
売上高	341,652	352,432
売上原価	266,191	275,253
売上総利益	75,461	77,178
営業収入	16,973	17,381
営業総利益	92,434	94,560
販売費及び一般管理費	75,646	80,396
営業利益	16,788	14,163
営業外収益		
受取利息および配当金	140	136
仕入割引	140	158
持分法による投資利益	28	7
その他	506	429
営業外収益合計	815	731
営業外費用		
支払利息	474	425
その他	297	306
営業外費用合計	771	731
経常利益	16,833	2 → 14,164
特別利益		
固定資産売却益	55	253
補助金収入	112	305
その他	6	-
特別利益合計	174	558
特別損失		
固定資産除却損	136	56
減損損失	42	117
投資有価証券評価損	-	221
店舗閉鎖損失	-	299
建設計画変更損失	-	213
災害による損失	293	-
復興寄付金	450	-
その他	0	74
特別損失合計	922	984
税金等調整前四半期純利益	16,085	13,738
法人税、住民税及び事業税	5,342	4,379
法人税等調整額	△ 226	128
法人税等合計	5,115	4,507
四半期純利益	10,969	9,230
非支配株主に帰属する四半期純利益	183	263
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,786	3 → 8,966

損益の状況

1 営業収益 3,698億円 前年同期比 ▶ 103.1%

- ・営業収益のうち、売上高は前年同期比10,779百万円(3.2%)増加し、352,432百万円となりました。また、営業収入は前年同期比408百万円(2.4%)増加し、17,381百万円となりました。これは、主に当社における新設店舗の稼働及び増床・活性化店舗の販売増によるものです。
- ・売上総利益は、77,178百万円(前年同期比1,717百万円の増加)となりました。売上高対比では21.9%となり前年同期に比べて0.2ポイント低下しました。これは、当社直営部門の荒利率が低下したことに加え、相対的に荒利率の低い当社の売上構成が高まったことによるものです。
- ・販売費及び一般管理費については、主に人件費が増加したことに加え、当期の新設・増床店舗及び既存店のリニューアルに係る創業経費が増加したことにより、前年同期比4,750百万円(6.3%)増加の80,396百万円となりました。売上高対比では22.8%となり前年同期に比べて0.7ポイント上昇しました。
- ・これらの結果、営業利益は前年同期比2,624百万円(15.6%)減少の14,163百万円となり、売上高対比は4.0%と前年同期に比べて0.9ポイント低下しました。

2 経常利益 141.6億円 前年同期比 ▶ 84.1%

- ・営業外収益は、前年同期比84百万円(10.3%)減少の731百万円となりました。一方、営業外費用は、前年同期比39百万円(5.2%)減少の731百万円となりました。
- ・これらの結果、経常利益は前年同期比2,669百万円(15.9%)減少の14,164百万円となりました。売上高対比は4.0%と前年同期に比べて0.9ポイント低下しました。

3 親会社株主に帰属する四半期純利益 89.6億円 前年同期比 ▶ 83.1%

- ・親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比1,819百万円(16.9%)減少の8,966百万円となりました。売上高対比は2.5%と前年同期に比べて0.7ポイント低下しました。

[連結] キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

	前第2四半期 2018.3.1~2018.8.31	当第2四半期 2019.3.1~2019.8.31
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	16,085	13,738
減価償却費	7,661	7,857
減損損失	42	117
災害損失	293	-
店舗閉鎖損失	-	299
建設計画変更損失	-	213
のれん償却額	443	402
貸倒引当金の増減額(△は減少)	105	52
受取利息及び受取配当金	△ 140	△ 136
支払利息	474	425
持分法による投資損益(△は益)	△ 28	△ 7
補助金収入	△ 112	△ 305
投資有価証券売却損益(△は益)	-	221
固定資産売却損益(△は益)	△ 55	△ 235
固定資産除却損	136	56
売上債権の増減額(△は増加)	△ 2,332	△ 5,397
たな卸資産の増減額(△は増加)	146	△ 220
仕入債務の増減額(△は減少)	2,862	26,767
その他	4,087	5,027
小計	29,669	48,877
利息及び配当金の受取額	117	105
利息の支払額	△ 491	△ 402
補助金の受取額	112	944
災害損失の支払額	△ 121	-
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△ 7,834	△ 4,353
営業活動によるキャッシュ・フロー	21,452	45,170
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△ 11,598	△ 6,357
有形固定資産の売却による収入	317	578
無形固定資産の取得による支出	△ 946	△ 723
投資有価証券の取得による支出	△ 719	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	-	△ 51
短期貸付金の増減額(△は増加)	△ 181	△ 118
その他	195	△ 986
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 12,932	△ 7,658
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	5,390	△ 17,346
長期借入れによる収入	-	1,000
長期借入金の返済による支出	△ 11,014	△ 10,361
自己株式の取得による支出	△ 5	△ 1
配当金の支払額	△ 2,866	△ 2,866
非支配株主への配当金の支払額	△ 34	△ 34
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	-	△ 27
その他	△ 41	△ 23
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 8,571	△ 29,660
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 51	7,852
現金及び現金同等物の期首残高	8,389	8,136
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,338	15,989

キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フロー 451億円の収入

会社の本業である営業活動によってどれだけの資金を獲得したかを表したものです。

- ・主な収入項目は、税金等調整前四半期純利益13,738百万円、減価償却費7,857百万円及び仕入債務の増加額26,767百万円です。
- ・主な支出項目は、法人税等の支払額4,353百万円及び売上債権の増加額5,397百万円です。

投資活動によるキャッシュ・フロー 76億円の支出

店舗新設等の設備投資や有価証券投資など期中の投資活動による資金の増減を表したものです。

- ・主な支出項目は、有形固定資産の取得による支出6,357百万円です。これは主に、店舗新設等によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フロー 296億円の支出

営業活動及び投資活動を維持するためにどれだけの資金を調達あるいは返済したかを表したものです。

- ・主な収入項目は、長期借入れによる収入1,000百万円です。
- ・主な支出項目は、短期借入金の純増減額17,346百万円、長期借入金の返済による支出10,361百万円及び配当金の支払額2,866百万円です。

現金及び現金同等物の残高 159億円

■ 会社概要

(2019年8月31日現在)

設立年月日 昭和36年10月27日
 本社所在地 広島市東区二葉の里三丁目3番1号
 TEL 082-264-3211(代)
 資本金 19,613,856,196円
 従業員 正社員 2,909名
 パートタイマー 6,631名(1日8時間換算)
 店舗数 115店舗(エクセル単独店舗10店舗含む)

■ 中国地方 66店

広島県 34店 岡山県 11店
 山口県 14店 島根県 7店

■ 九州地方 36店

福岡県 19店 佐賀県 3店
 大分県 3店 長崎県 2店
 熊本県 9店

■ その他 13店

香川県 4店 兵庫県 3店
 徳島県 1店 その他 5店

■ 役員一覧

(2019年8月31日現在)

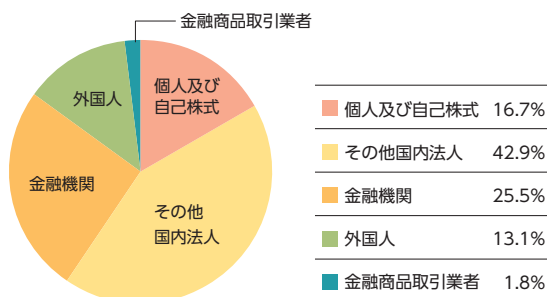
代表取締役社長 山西 泰明
 専務取締役 梶原 雄一郎
 専務取締役 三家本 達也
 常務取締役 中村 豊三
 取締役 本田 雅彦
 取締役 似鳥 昭雄
 取締役 米田 邦彦
 常勤監査役 川本 邦昭
 監査役 松原 治郎
 監査役 通堂 泰幸

■ 株式の状況

(2019年8月31日現在)

発行可能株式総数 195,243,000株
 発行済株式の総数 71,665,200株
 株主数 5,592名
 1単元の株式数 100株

■ 単元株式の所有状況



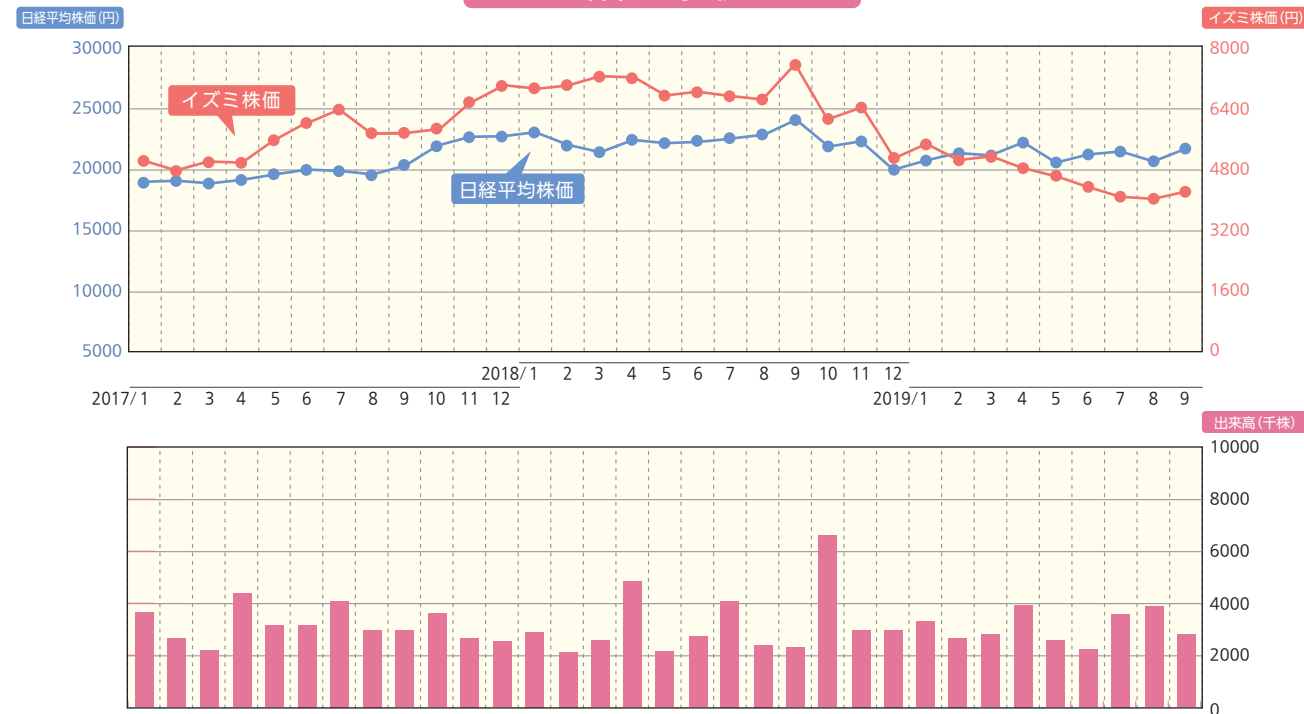
■ 大株主の状況

(2019年8月31日現在)

株主名	持株数	持株比率
山西ワールド(株)	19,935千株	27.8%
第一不動産(株)	4,208千株	5.9%
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	2,865千株	4.0%
(株)広島銀行	2,362千株	3.3%
日本生命保険相互会社	2,093千株	2.9%
イズミ広島共栄会	2,058千株	2.9%
山西 泰明	2,036千株	2.8%
第一生命保険(株)	2,030千株	2.8%
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	1,944千株	2.7%
全国共済農業協同組合連合会	1,415千株	2.0%

(注)持株比率は、自己株式(6,976株)を控除して計算しています。

■ 株価の推移



■ 株主優待制度

■ 株主ご優待券またはギフト券(選択制)

毎年2月末日及び8月31日現在、当社株式100株以上ご所有の株主の皆様に対して、「株主ご優待券」か「ギフト券」をお選びいただき、ご所有株式数に応じて以下のとおりお贈りいたします。

ご所有株式数	株主ご優待券	ギフト券
100株以上	20枚 (2,000円相当)	500円相当
200株以上	30枚 (3,000円相当)	
300株以上	40枚 (4,000円相当)	
400株以上	50枚 (5,000円相当)	
500株以上	60枚 (6,000円相当)	
1,000株以上	100枚 (10,000円相当)	2,000円相当
2,000株以上	200枚 (20,000円相当)	
3,000株以上	300枚 (30,000円相当)	
4,000株以上	400枚 (40,000円相当)	
5,000株以上	500枚 (50,000円相当)	
6,000株以上	600枚 (60,000円相当)	
8,000株以上	800枚 (80,000円相当)	
10,000株以上	1,000枚(100,000円相当)	

※「株主ご優待券」は、1千円以上のお買い上げにつき、1千円ごとに各1枚(100円割引券)をご使用いただけます。

■ 長期保有特典制度

毎年2月末日時点で、当社株式を2年以上継続して保有され、かつ毎年2月末日時点で300株以上保有の株主様に、現行の優待制度(選択制)に応じて、「自社商品券」または「ギフト券」のいずれかを[年1回]贈呈いたします。

ご所有株式数	自社商品券 ^{※1}	ギフト券 ^{※2}
	現行制度に株主優待券をお選びの株主様	現行制度にギフト券をお選びの株主様
300株以上	2,000円相当	500円相当
1,000株以上	4,000円相当	1,000円相当

※1「自社商品券」は、ゆめタウン、ゆめマート、ゆめシティ、LECTの各店舗、(株)ユアーズ、(株)デイリーマート、岡山ロッツ、(有)はなわの店舗等でご利用いただけます。専門店によっては一部ご利用できない店舗がございます。

※2「ギフト券」は全国でご利用いただけるものを贈呈いたします。

■ 泉美術館ご招待券の贈呈

2019年8月31日現在で当社株式を1単元以上ご所有の株主の皆様へ「泉美術館ご招待券」を贈呈させていただきます。

公益財団法人

泉美術館



■ 開館時間
午前10時から午後5時(入館は午後4時30分まで)

■ 休館日
月曜日(祝日は開館)、年末年始

※展示替えによる臨時休館あり

■ 住所
〒733-0833
広島市西区商工センター2丁目3番1号エクセル5階
TEL (082) 276-2600

■ ホームページ <http://www.izumi-museum.jp/>

株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月開催
基準日	定時株主総会 毎年2月末日 期末配当金 毎年2月末日 中間配当金 毎年8月31日
公告掲載新聞	日本経済新聞
上場金融商品取引所	東京証券取引所市場第一部
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
[郵便物送付先] (※)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

[電話照会先] (※) ☎ 0120-782-031

(※)2013年1月より郵便物送付先・電話照会先が上記のとおり変更となっております。

インターネットホームページアドレス

<https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

■ 株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。

証券会社の口座のご利用がない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。

■ 特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

■ マイナンバー制度に関するお手続きについて

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きで必要となります。

【株式関係事務におけるマイナンバーの利用目的】

法令に定められたとおり、支払調書に株主様のマイナンバーを記載し、税務署に提出いたします。このため、株主様からお取引のある証券会社等へ、以下のとおりマイナンバーを届出いただく必要がございます。

●証券会社の口座で株式を管理されている株主様

お取引の証券会社までお問い合わせください。

●証券会社とのお取引がない株主様

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部(上記記載)までお問い合わせください。